

2017年度 埼玉県理容美容専門学校 自己点検評価委員会議事録

【日時】2018年7月9日(月) 09:00~11:00

【会場】埼玉県理容美容専門学校 3階 会議室

【委員】評価委員 4名

委員長/校長 相川 浩一
事務長 浦野 智子
経営企画部長 島田 美紀
教務課長 中川 一江

1 開会の辞(校長 相川 浩一) 2017年度 自己点検評価委員会を開催することを宣言した。

2 校長挨拶(校長 相川 浩一)

学校の「自己点検評価」に対して真摯な態度で臨みかつ公正な評価を行い、今後の学校活動に有益な意見交換を求める。

3 審議事項

①「1.学校の教育目標」についての審議

校長 / 現状として妥当なものである。

②「2.本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画」

校長 / 6時間授業を導入した結果、学生の学習意欲の向上が図られたと考える。実習授業にも柔軟性が生まれ実践的な授業へのシフトも行われた。

中川 / 時間的なゆとりが放課後の活用に結びついた。特に各種検定の練習会や学校行事の準備など学生の負担が軽減された。

島田 / 理美容それぞれの技術に特化したカリキュラムとして、理容は「福祉理容」美容は「日本文化」を開講した。

浦野 / SDを計画的に進めた結果、殆どの学科科目を常勤職員が担当可能になっている。

③「3.評価項目の達成及び取組状況」については、各項目につき、前年度との比較検証をしながら評価を行う。

1) 教育理念・目標

校長 / ①学校の教育目標として学校の理念・目的・育成人材像を、定め、その特性を明確にしていると認識している。「5」が妥当と考える。

島田 / ②理容師・美容師の国家資格取得を中心に、業界団体（理容組合・美容組合）との連携により、第一線で活躍する現職の技術者が講師として授業に参画する事で活きた知識や技術を全員に学ばせている。また、積極的にボランティアなどで社会に参画させ職業観を養っている。「5」が妥当と考える。③現状は高校新卒者の受入れがほとんどではあるが、今後は既卒者や社会人の理容師・美容師資格取得希望者の受入れ態勢も図る。また、社会的なニーズに応じ、一線から退いた理容師美容師の技術再習得の場として、学校の施設や設備を利用した講座の開設も検討していく。④本校の理念・目的・特色等は、学生に対しては高校でのガイダンスや体験入学の時、保護者に対しては保護者向け説明会の時等、入学前から機会を設けて、その都度説明している。この2点については「5」が妥当と考える。

校長 / ⑤教育目標や育成人材像等については、業界団体（理容組合・美容組合）その他からのニーズにも対応しながら、学校としての方向づけを行っている。今後はさらに、福祉関係やカウンセリング等につき、関係諸団体との意見交換を行いながら、より広く社会のニーズに応えるようにしていきたい。改善の途上であるので「4」が妥当と考える。

2) 学校運営

校長 / ①本校における教育理念、及びその目的・目標を明確にし、その実現に向けて運営方針を充実させている。現在は途上であるので「4」が妥当と考える。

浦野 / ②各年度の事業計画は、上記の運営方針に従って各部署で立案、それを基に各部署長による運営会議において学校全体の年度計画として策定し、理事会・評議員会の承認を得た上で実施している。また、その計画の実施状況についても、各担当部署及び運営会議においてチェックするとともに、理事会・評議員会に報告し承認を得ている。「5」が妥当と考える。③運営組織や意思決定等については、寄附行為やその他の規程等により定められ有効に機能している。また、平成30年度からは寄附行為を一部見直し、組織をコンパクトにする事により意思決定を迅速に行い学校運営の体制強化及び経費削減等周知徹底に取り組んでいる。「4」が妥当と考える。④人事、給与に関する規程等は整備されているかに関しては、就業規則や給与規程等により定められ、教職員にも周知されている。「5」が妥当と考える。⑤教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているかについても③と同様に寄附行為や学則その他により定められているとおりで。「5」が妥当と考える。⑥法令や社会的規範等の遵守については、就業規則にも定めているが、教職員の周知徹底について「4」が妥当な現状と考える。

島田 / ⑦教育活動等に関する情報公開が適切になされているかについては、ホームページや学校案内等により情報を公開している。情報公開の程度は「4」が妥当と考える。

⑧学籍データ等のシステム管理を進め、業務の効率化を図るとともに、外部からの不正侵入を防ぎ、ネットワークセキュリティを強化

する為にハード及びソフトを更新し、教職員が使用している各PCにも、それぞれにセキュリティを導入している。「4」が妥当と考える。

3) 教育活動

- 島田 / ①教育課程の編成や実施方針は教育理念や目標に沿って策定している。②年間カリキュラムの編成はシラバスの作成と連動して明確であり、補習や補講を充実させている。この2点は改善中であるので「4」が妥当と考える。
③学生が効率よく学べるよう体系的に編成しているので「5」が妥当と考える。
- 中川 / ④業界のニーズや学生本人の希望を考慮し、より実践的な職業教育のために現職の理容師・美容師が現場の活きた技術も教授している。今後はいっそうの充実を図りたいので「5」が妥当とする。
- 浦野 / ⑤教育課程編成委員会を設置し、委員会での審議（年2回開催）を通して、カリキュラムや教育内容の見直しを実施している。「5」が妥当と考える。
- 中川 / ⑥通常の授業での実習と合わせ、実務実習として実際の理容・美容サロンの協力の下での実習を、1年次春期（実働7日間）及び2年次夏期（実働12日間）に行い、その体験をフィードバックすることにより、体系的かつ実践的な職業教育を行っている。ので「4」が妥当とする。
- 校長 / ⑦授業評価の実施・評価体制は教育課程編成委員会を設置し、委員会での審議を通して、授業評価を実施しているので「5」としたい。⑧1年次ではフェイシャル・エステ、2年次ではテクニカル授業を設け、外部講師による専門分野の技術の強化を図るとともに、本校での職業実践教育に対する評価も得ているよって「5」が妥当とする。
- 中川 / ⑨成績評価や進級・卒業の判定については、学習評価規程を設け、それを基に行っている。「5」が妥当と考える。
- 校長 / ⑩理容師・美容師資格の取得へ向け、体系的なカリキュラムを編成し、国家試験前には、実技及び学科の試験対策も行い、全員合格へ向けた指導を行っている。また、エステやメイク、ネイル等その他の資格についても、通常のカリキュラムの中で対応するとともに、希望者には、必要に応じて講習会を開く等、資格の取得を奨励している。「5」が妥当と考える。
- 浦野 / ⑪教職員のSDを推進し本校の教育理念及び教育目標を理解させ、その達成に向けた授業を担いえる資格・経験・知識や技術等を有した教員や講師を確保できたので「5」とする。
⑫業界団体（理容組合・美容組合）における講師資格を持ち、優れた経験や技術を有した現職の理容師・美容師を講師として確保する等、業界との連携によるマネジメントを行っている。この項目は「5」が妥当と考える。

校長 / ⑬資質向上のためSDを計画的に実施している。⑭自主的に受講しようとする教職員には、その費用を助成している。2点について現状「5」が妥当と考える。

4) 学修成果

島田 / ①理美容業については多様性が進んでおり就職先は多岐にわたる。理美容のサロンを中心に、資格を活かして有利な就職が期待できる美容系のサービス等、約2000件の求人を常時確保する事ができた。平成29年度は理容100%、美容97%、内容としてサロン以外の就職4名に止まったが、就職せず進学希望などが2名あった。また、本校主催の就職フェアは参加希望サロンが非常に増加し本校の対外的な評価の底上げに役立っている。個別の相談に対する学生のニーズも高く、アンケートの結果ではほとんどの学生が就職支援について満足しているものとなっていた。職業斡旋に関する規定が厳しくなっており、今後はスキルの高いキャリア専門員の増員が必要。結果としては「5」が妥当と考える。

中川 / ②理容師・美容師資格の取得へ向け、体系的にカリキュラムを編成しているとともに、学修意欲や資格取得へのモチベーションを維持、向上させるよう、クラス担任を中心に指導している。また、国家試験前には、事前講習会等も実施し、全員合格へ向けた試験対策も行っている。その結果として、平成29年度卒業生の国家試験では、理容科は93.1%、美容科も96.6%の合格率を達成している。その他エステやメイク、ネイル、化粧品検定、パーソナルカラー等の資格についても、希望者には必要に応じて講習会を開く等のサポートを行っているが国家試験結果を鑑みて「4」が妥当と考える。③各クラス担任を中心に学生の状況把握に努め、何か問題が生じた場合にも、早期の対応が可能となるような態勢をとっている。特に、退学の予兆ともなる無断欠席等については、本人及び保護者とも即座に連絡を取り、学習意欲、生活習慣の見直しなど、保護者との密接な連絡や協力を得ながら、退学の防止に取り組んでいる。「4」が妥当と考える。

島田 / ④在校時にキャリア支援をすることによって、卒業後も離職や転職相談などを利用する卒業生が増加している。既卒者から直接に情報を得て、サロンオーナーになった者、都内で有名店の店長になった者等、各分野で活躍している卒業生についてデータ化を進めている。在校生についても、各種コンテスト出場へのサポートや校外活動への協力等、教務を中心に充実した支援体制をとっている。「5」が妥当と考える。⑤卒業後も、目的を持ったキャリア形成が継続できるよう5月に就職セミナー、キャリアガイダンスを実施しキャリアを形成する礎とする。そして、その土台を在学中に活かすよう、サロン実習や就職フェア、各種ボランティアを行い常に教育を改善している。「5」が妥当と考える。

5) 学生支援

- 島田 / ①就職プログラムや自校開催の就職フェアと連動して、社会科学、サロンワークにおいても学生自身の職業観を深め、自主的な就職活動に繋がっている。1年次から就職フェアへ参加させることで意識を高め、2年次にはさらに個別指導や相談を行う等の継続的な活動が効果を出している。日々の学生指導でも、社会常識やマナーなど、基本的な職業観を身につける等の工夫を行い、全体として、進路・就職に関する支援を充実させている。また、求人情報をデータ化し、学生たちがいつでも検索できるよう開示している。「5」が妥当と考える。②クラス担任と学生支援室による様々な角度からの相談を強化し、一方通行にならない学生支援を行っている。コーチングとコンサルティングに加えて、カウンセリングの要素を持った学生指導に努めている。「5」が妥当と考える。
- 浦野 / ③学費については、日本学生支援機構の奨学金や国の教育ローン、他、本校と金融機関との提携ローンを活用する等、学生への経済的な支援体制を設けている。また、様々な事情がある学生に対しては、担当者が個別に、その状況に応じた対応を行っている。平成29年度からは、学費に関する減免規程も施行し、教育訓練給付金等の公的資金援助等も含め、さらに経済的な支援体制の整備を図る。「4」が妥当と考える。④毎年4月に健康診断を実施し、学生の健康状態を管理している。日常的には事務室に常備薬を置き保健室にて対応し、病院への連絡態勢も整えているが安全面で充分ではない。「3」が妥当と考える。
- 中川 / ⑤地域社会との交流を深め、理容・美容の技術を活かしたボランティア活動に多くの学生が積極的に参加している。また、大型商業施設での七夕イベントやハロウィンイベントへの参加や子役の公開オーディション、地域の商店街のイベントへの参加等、個々の職業観を高められる取り組みや、課外活動への直接支援により職業実践的な支援を独自に行っている。「5」が妥当と考える。
- 浦野 / ⑥遠方からの学生に対して、近隣の学生会館やアパート等を、業者との提携により有利な条件にて紹介できるように対応している。必要に応じて理容・美容関連のアルバイト等も紹介している。「4」が妥当と考える。
- 中川 / ⑦「入学前から保護者説明会などを通じて、資格取得や就職などへの理解を深める努力をして信頼関係を築いている。学校と保護者との連携を密にするため、保護者会を設けている。保護者会の会合では、学生の現況や今後の学校の方針についての説明だけでなく、保護者からの質問や意見も取り上げ、ともに理解を深め、協力しあえるような態勢作りを行っている。また、年2回の定期試験後の成績表の送付や、学校行事の通知等、日常的にも保護者との連絡を取っている。特に、学生に何か問題が生じた場合には、即座に保護者と連絡を取り合い、連続した欠席の生じた場合は早期に保護者へ連絡するなど、早期に適切な対応を行えるように留意している。「5」が妥当と考える。

- 島田 / ⑧卒業生へのキャリアコンサルティングを充実させ、進路変更や再就職等多岐に亘る相談にも対応している。現在は、卒業生が来校しなくてもタイムリーに相談できるよう、WEBでの対応を実施し周知も広がっている。「5」が妥当と考える。
- 中川 / ⑨理容師・美容師としての知識や技術だけでなく、社会人としての基本も身に就くよう、社会常識やビジネスマナーについても修得させている。昼間課程の入試についても、社会人がチャレンジしやすい日程や内容となるよう改善が図られた。「5」が妥当と考える。
- 島田 / ⑩県内の高校を中心に、説明会や模擬授業等を行う他、学校施設の見学等も受入れている。また、高校のインターンシップ事業にも協力し、生徒の受入れも行っている。高校からは、卒業生講話、就職講演、面接指導等の依頼もあり、相互に職業実践的な取組を維持している。「5」が妥当と考える。

6) 教育環境

- 浦野 / ①施設や設備については、教育上の必要性に応じて整備している。今後の施設や設備の老朽化に対しては、計画的に拡充や更新を行い、教育環境の充実を図っていく。「4」が妥当と考える。
- 中川 / ②1年次春期及び2年次夏期に、実務実習として実際の理容・美容サロンでの研修を行うに際しては、事前に、1年次に各自サロン見学（夏期（大型店・中型店・小型店等）冬期1店舗）を行い、接客マナー等も含め実習を行う上での心構えや注意事項等の指導を行う。さらに実習期間中には、担当教員が実習先の担当者に連絡し、学生のフォローを行っている。また、2年次に実施する国内研修旅行（関西方面）においても、事前学習等の準備をした上で、観劇及びテーブルマナー等の研修を行っているが大きく改善された点はない。「4」が妥当と考える。
- 浦野 / ③毎年防災訓練を実施し、災害時の対応や避難経路の確認等を行っている。また、学生・教職員を含め、災害時の帰宅困難者等の発生も予測し、計画的に備蓄品を整備している。「4」が妥当と考える。

7) 学生の受入れ募集

- 島田 / ①県内及び県外の高等学校を訪問して、学校の情報開示と教育方針への理解を深めている。また学校案内や募集要項の記載内容、学生募集時期等は、関係諸機関との申し合わせ事項等に基づき、適正なものとなっている。募集活動においては、特に個人情報の安全かつ適正な取扱いに注意し、お互いの信頼関係に基づいた活動を行っている。②本校における教育成果については、学校案内やホームページ等にて公表している。また、高校生や保護者を対象とした説明会等においても、募集活動上必要な情報として、教育成果は正確に伝えている。2点については「5」が妥当と考える。

浦野 / ③ 学生納付金の金額は、通常徴収する学費等の全額を公表している。また、金額としても、本校の教育内容に鑑みて妥当なものと考えられる。今後の学校施設設備の充実と教育内容の整備のため、一部学費の見直しを進めている「5」が妥当と考える。

8) 財務

浦野 / 無借金による学校経営を維持しており、財政基盤は安定している。ただし、長期的には学生数の減少も予測されるので、さらに安定した財政基盤づくりが必要となる。その為には、今後とも経費の削減に努めるとともに、平成30年度より学費の改定を実施する。② 学校としての運営方針を基に予算・収支計画を策定し、必要に応じて補正予算も組んでいるが、いずれも評議員会・理事会の承認を得た上で執行している。また、その執行状況についても、月次毎に会計事務所の精査を受けており、有効かつ妥当なものとなっている③会計監査は年1回、会計事務所立会いの下、監事2名により適正に行われている。以上3点は「4」が妥当と考える。④ 埼玉県情報公開条例の規定に基づき、財務情報を公開している。「5」が妥当と考える。

9) 法令等の遵守

校長 / ①関係法令や専修学校設置基準、及び理容師養成施設指定規則・美容師養成施設指定規則等を遵守し、適正な運営を行っている。「4」が妥当と考える。

浦野 / ②個人情報の取扱については十分な注意をはらうとともに、外部からの不正侵入を防止する為に、ネットワークセキュリティを強化している。また、教職員が使用する各PCについてもセキュリティ対策を講じ、別人が不正にデータにアクセスすることや、データを持ち出すことを防止し、個人情報の保護を図っている。「4」が妥当と考える。③自己評価は毎年実施し、問題点については、関係部署にて協議の上、その改善策を立案し実施している。また、学校関係者評価委員会において外部評価も行い、問題点の把握に努めているので「4」が妥当と考える。④自己評価結果に併せて、学校関係者評価委員会の結果についても、ホームページ上で公開している。「4」が妥当と考える。

10) 社会貢献・地域貢献

中川 / ①県「青少年夢のかけはし事業」に協力し、理容師・美容師希望の小学生を受入れ、体験学習を行っている。②地元商店街や商業施設からの、ハロウィンのイベントにおけるメイク協力依頼等、理容・美容の技術を活かした学生へのボランティア活動依頼が増えている。清掃活動、7月の鳩ヶ谷浴衣祭り、11月には埼玉国際マラソンにボランティア参加した。学校としては、特に安全面や個人情報の流出に留意しながら、地域や社会貢献の一環として、その活動を支援している。この2点は「5」が妥当と考える。③高校からのインターンシップ事業への協力依頼を受け、平成29

年度も2校から希望者を受け入れ、職業訓練教育を実施している。また、地域の公開講座や鶴岡八幡宮、高校へのメイク講座等の講師として、教員の派遣依頼も受けている。「5」が妥当と考える。

「4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果」

校長 / 以上、各項目の評価点を承認いただきたい。

挙手により全員一致で承認される。

教職員の資質向上の為、「学校スタッフの育成」(SD)を実践し成果を上げている。

また、退学を防止する委員会を発足し「学生のための学校である事」を意識し、コミュニケーションの徹底、学生一人一人の細やかな指導を教職員全員で考え実践している。

国家試験の合格率、就職率の高さは、常にトップレベルを維持したい。学生指導についてはコミュニケーション力学習、接遇マナーの充実に力を入れている。

この自己点検評価の結果を報告書にまとめる。学校運営において概ね健全であると考えますが、本校に不足しているもの、今後必要となるもの等を明確にするため学校関係者評価委員会等の意見を参考にしていきたい。

以上について、報告書を学校関係者委員会による学校評価委員会に提出し、結果をホームページ上に公開することを確認し、閉会とする。

以上

2018年7月9日(月)